



がくとくんとおんぶちゃん

こおりやま 市議会だより

第190号 - 令和元年 9 月定例会 -

タブレットでわかりやすい議会運営へ
(郡山市議会 9 月定例会)



郡山市

発行日：令和元(2019)年 12 月 1 日

発行：郡山市議会

編集：こおりやま市議会だより編集委員会

〒963-8601 郡山市朝日一丁目 23 番 7 号

TEL 024-924-2521 FAX 024-938-2810

メールアドレス soumugiji@city.koriyama.lg.jp

主な掲載内容

議長・副議長就任あいさつ	2頁
議会運営委員会・常任委員会の紹介	2頁
議会の災害対応、会派の構成	3頁
9月定例会のあらまし、常任委員会の審査状況	4頁
議案等の賛否一覧	5頁
平成 30 年度決算特別委員会	6頁
9月定例会市政一般質問	7～16頁
タブレットの導入	17頁
12月定例会開催予定	18頁

就任あいさつ

議会運営委員会・常任委員会の紹介

副議長 田川 正治



議長とともに公正、円滑な議会運営を

台風第19号により被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。本市議会として、災害復旧・市民生活の復興を第一の課題として捉え、全力で取り組んで参ります。

先般、9月9日の臨時会におきまして、議員各位の御推挙により副議長という要職に就かせていただき、職責の重さを痛感しております。

本市議会の総合力が発揮できますよう市民からのコンセンサスを得ながら、七海議長とともに、公正、円滑な議会運営のために、最善の努力を尽くして参りますので、皆様の御指導と御協力を心からお願い申し上げます。

議長 七海 喜久雄



議論を深め、円滑な議会運営を

台風第19号により被災された皆様からのお見舞い申し上げます。本市議会として、市議会災害対策会議を設置し、当局に応急対策に係る緊急提言を行いました。今後、議員一丸となり、災害復旧に向けて取り組んで参ります。

この度の議長の就任につきましては、その使命と責任の重大さに身の引き締まる思いであります。

本市議会では、今定例会から一問一答方式の質問方法やタブレット端末を導入するなど、新たな改革を進めております。今後も、常に市民目線に立ち、議論を深めながら、円滑な議会運営に努めて参りますので、御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

■議会運営委員会とは

議会を円滑に運営するための順序や進め方などを協議するため、に設置している常設の委員会です。

■常任委員会とは

予算・条例などの議案や、請願などを専門的かつ効率的に審査するために設置している常設の委員会です。

本市には4つの常任委員会があります。

※各委員の任期は2年です。

議会運営委員会

佐藤 徹哉（委員長）
折笠 正（副委員長）
森合 秀行
名木 敬一
渡部 龍治
佐藤 栄作
但野 光夫
栗原 晃
塩田 義智
大城 宏之



建設水道常任委員会



総務財政常任委員会



文教福祉常任委員会



環境経済常任委員会

議会の災害対応

■緊急提言書の提出

台風第19号による災害にあたり、当市議会においては、各議員に寄せられた市民の皆様御意見を検討・協議し、特に早急な対応が必要な事項を取りまとめ、市当局の迅速な対応を求めるため、10月16日に「緊急提言書」を市長に提出しました。

◇提言内容

- 1 災害ゴミの対策及び感染症対策について
- 2 被災者支援について
- 3 公共交通等について
- 4 県への要望について



品川市長に提言書を手渡す七海議長ら

■市議会災害対策会議の設置

災害初期から迅速な災害対応にあたるため、郡山市議会BCP（業務継続計画）に基づき、10月13日に「郡山市議会災害対策会議」を設置しました。

◇構成

議長、副議長、各会派代表者

◇活動内容

議員が把握した地域の災害状況や市民の声を集約し、「緊急提言書」を提出したほか、市災害対策本部等との連携・協力のもと、災害対応にあたっています。

今後、災害復旧に向け、引き続き活動してまいります。

姉妹都市から

支援金が寄せられました

郡山市と姉妹都市である、奈良市・久留米市の市議会議員の皆様から、今回の災害に対し、支援金が寄せられました。

会派の構成

会派とは、市政についての考え方や意見を同じくする議員で構成された集団です。
会派名及び所属議員名は、次のとおりです。

※議席順

会 派 名	所 属 議 員 名							
志 翔 会	七海 喜久雄	村上 晃一	森合 秀行	佐藤 栄作				
	佐藤 徹哉	○川前 光徳	塩田 義智	近内 利男				
	久野 三男	佐藤 政喜	大城 宏之	鈴木 祐治				
新 政 会	三瓶 宗盛	福田 文子	渡部 龍治	會田 一男				
	折笠 正	良田 金次郎	栗原 晃	○廣田 耕一				
	石川 義和	遠藤 敏郎						
郡山市議会公明党	山根 悟	但野 光夫	田川 正治	○小島 寛子				
緑 風 会	名木 敬一	大木 進	諸越 裕	○今村 剛司				
社 会 民 主 党	柳田 尚一	飯塚 裕一	○八重樫 小代子					
日本共産党郡山市議団	○岡田 哲夫	高橋 善治						
虹 と み ど り の 会	○蛇石 郁子							
無 所 属 の 会	○箭内 好彦							
立 憲 民 主 党	○吉田 公男							

○：会長

令和元年9月定例会 一般会計補正予算など議案42件、議案1件 を可決、平成30年度決算等議案34件を認定

定例会のあらまし

9月定例会を、9月17日から10月15日までの29日間にわたり開催しました。

初日には、議席の変更、会期の決定、諸般の報告に続き、市長が提出議案の提案理由について述べた後、教育委員会委員の任命など、人事案件4件を全会一致で同意しました。

24日から27日までは、17人の議員が市政一般質問を行いました。

9月30日と10月1日は、4つの常任委員会で、付託された議案37件と請願1件を慎重に審査しました。

10月3日の本会議では、各常任委員会から審査結果の報告を受け、SDGs※推進全世界代健康都市圏事業を含む一般会計補正予算など議案37件

を全会一致で可決するとともに、請願1件を全会一致で採択し、女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書の議案1件を全会一致で可決しました。

10月9日から15日までは、決算特別委員会を開催し、追加提出された平成30年度決算認定等議案34件を審査しました。

最終日となる15日の本会議では、決算特別委員会から審査結果の報告を受けた後、平成30年度決算認定等議案34件を全会一致で可決及び認定しました。

また、追加提出された人権擁護委員の人事案件を全会一致で同意しました。

※SDGs（持続可能な開発目標）：「誰一人取り残さない」社会実現のために先進国も途上国もすべての国が関わって解決していく国際目標。

常任委員会の審査状況

審査内容の中から主なものをお知らせします。



総務財政

問 消防力整備事業について、今回整備する資機材の配備計画は。

答 災害時の倒木等による道路の寸断から道路を確保することを目的に、国の補助制度を活用し、チェーンソーは消防団の各車両に1台ずつ、油圧切断機は各地区隊に1台ずつ、エンジンカッター、油圧ジャッキは各分団に1台ずつ、トランシーバーは各車両に4台ずつ配置する予定である。



建設水道

問 大槻川、仲川、亀田川それぞれにおける河川改修の目的と内容は。

答 大槻川、仲川については、

河川の断面を広げるとともに、川岸をブロック等で保護し、安全性を確保するための工事を行う。

亀田川については、河床に根固めブロックを設置することで、急な流れによる侵食で河床が低下することを防ぐための工事を行う。



環境経済

問 湖南小中学校に導入する太陽光発電と蓄電池の容量、系統連携・利用方法、融雪モジュールの使用など積雪への対応は。

答 容量は、太陽光発電が10kWh、蓄電池が15kWhの予定である。

系統連携・利用方法は、基本的には当該施設において使用するが、今後、余剰電力の活用については、系統連携も含めて検討する。

積雪への対応は、壁掛け式及び融雪モジュールの使用等

も含めて、今後、設計の中で検討していきたい。



問 SDGs推進全世代健康都市圏事業の目的と連携内容は。

答 本事業は、医療・介護等のデータを多角的に分析することにより、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を図ることを目的としている。

今後は、データ分析の手法を連携中枢都市圏の各市町村と共に検討し、圏域内に広めていくとともに、圏域内の医師会、歯科医師会及び看護協会等の医療等関係機関、介護関係者等と連携を図っていき



議案等の賛否一覧

今定例会では、賛否が分かれた議案等はありませんでした。

全会一致で可決した議案

補正予算	令和元年度一般会計（第4号）	条例改正	郡山市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び郡山市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例
	令和元年度特別会計（国民健康保険（第2号）、後期高齢者医療（第2号）、介護保険（第2号）、県中都市計画徳定土地区画整理事業（第1号）、総合地方卸売市場（第1号）、熱海温泉事業（第1号）、母子父子寡婦福祉資金貸付金（第1号）、財産区（多田野、河内、片平、月形、舟津、舘、浜路、横沢、中野、後田）（第1号））		郡山市災害弔慰金の支給等に関する条例
条例制定	成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例		郡山市印鑑条例
	郡山市臨時児童扶養等資金の貸付けに係る償還の免除に関する条例		郡山市中小企業及び小規模企業振興基本条例
	郡山市予防接種健康被害調査委員会条例		郡山市水道事業給水条例及び郡山市簡易水道条例
条例改正	郡山市行政センター設置条例	その他	郡山市立学校条例
	郡山市固定資産評価審査委員会条例		財産の取得（消防ポンプ自動車）
	郡山市手数料条例		郡山市教育委員会委員の任命、郡山市監査委員の選任、郡山市多田野財産区管理委員の選任、郡山市河内財産区管理委員の選任、人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めること
	郡山市児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例及び郡山市幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例		平成30年度一般会計歳入歳出決算認定等 34件
			訴えの提起（除去土壌等搬出作業等業務委託契約契約解除に係る履行保証請求）
			市道路線（変更）
			字の区域の画定
			二本松市との連携中枢都市圏形成に係る連携協約の締結に関する協議

請 願

次の請願を全会一致で採択しました。

- 女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准の意見書提出を求める請願

意 見 書

次の意見書を全会一致で可決しました。

- 女性差別撤廃条約選択議定書の速やかな批准を求める意見書

また、総合体育館、市民文化センター、御館小学校児童クラブ、麓山公園、郡山駅東口駐車場・東西自由通路の現地調査も行いました。

提出された平成30年度決算
認定等議案34件については、
原案のとおり可決及び認定す
べきものと決しました。

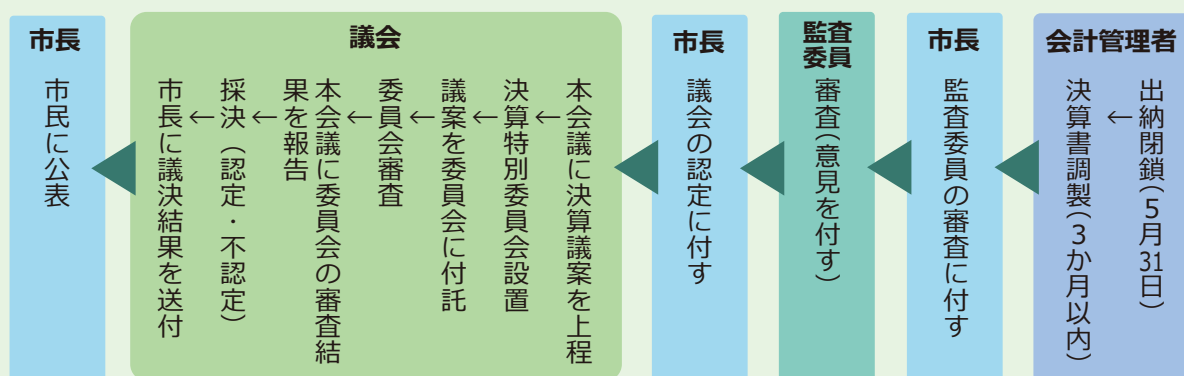


A group of approximately 15 men in dark business suits are standing in a line or semi-circle on a paved outdoor area. They are holding various documents and folders. A person wearing a light blue protective suit and a cap is standing on the right, facing the group and holding a document. In the background, there are trees, a white building, and a green structure. A white gas cylinder is visible in the foreground.

決算とは

決算特別委員会の委員は、議長及び議会選出の監査委員を除いた全議員で構成しています。

— 決算の主な流れ —



令和元年9月定例会

市政一般質問

●今回の登壇者数 17名

●持ち時間
質問・答弁をあわせて 60分

●記事の内容について
掲載の質問や答弁は、要約してあります。詳細は、議会中継や会議録を御覧ください。

●録画中継
各記事のQRコードから、録画中継が御覧いただけます。

●会議録
市ウェブサイトや次の施設で御覧いただけます。

- ・市政情報センター（市役所西庁舎1階）
- ・中央図書館・希望ヶ丘図書館
- ・安積図書館・富久山図書館



会議録検索システム

東部地区の市街化調整区域解除について



志翔会 村上 晃一 議員
むらかみ こういち

東部地区のビジョンと施策について



問 東部地区の今後の発展には、市街化調整区域の解除が必要と考える。

郡山市市街化調整区域地区計画運用指針が示されたが、区域解除の可能性は。

答 区域解除は、市街地の外

延化等の課題もあり、現時点では困難であるが、市街化調整区域内で一定要件を満たす地区で、地域の実情に即したまちづくりに活用できる地区計画運用指針を策定しており、東部地区の小・中学校や駅等の既存ストックを生かしたまちづくり、地域発展に向け、地区計画を活用いただけるよう努めていく。



東部地域の市街化調整区域の風景

問 郡山市東部地域づくり基本計画改定は見送られたが、東部地区の未来に対し、どのようなビジョンと施策を考えているのか。

答 東部地区は各市町村相互の境界地となるエリアとして、こおりやま広域圏全体での役割を考えていくべきであり、SDGs未来都市実現に向けた包摂的取組みにより、オールこおりやま広域圏での課題解決を基本としていく。

あらゆる地域で未来を担う若者が十分に力を発揮できる機会や場を創出し、市町村の枠にとられない地域振興を進め、市民・企業とともに地域の発展に寄与していく。



日本共産党郡山市議員

おかだ てつお
岡田 哲夫 議員

学校給食費無償化に向けた補助について

問

人口減少が進む県内では、学校給食費無償化に取り組む自治体が急速に拡大している。本市の将来を考えた場合、子育て世代の教育費の負担軽減策こそ最優先すべき施策と考えるが、無償化の実施を前提とした補助のあり方を検討すべきでは。

答

今年度の年間給食費を180日で試算すると、約14億2千万円である。

その経費を市が負担した場合、財政運営及び安定的な学校給食運営に支障を来たすことが懸念されるため、補助

のあり方の検討は、現段階では考えていない。



会計年度任用職員制度の素案の再検討について

問

新制度移行にあたって不利益が生じないようにすることとは、使用者として当然の責務であるが、職員団体は、初任給が現行水準より引き下げとなるなどの問題点を指摘している。

素案を再検討すべきでは。

答

現在、国の事務処理マニュアルに基づき、制度移行に向け、勤務条件を整理しているところであり、地方公務員法に基づく均衡の原則を踏まえ、県や他市の状況を考慮する必要があると認識している。

また、現在の給与水準を一定期間保障する等、できるだけ不利益が生じない経過措置を検討しており、先般、制度概要や今後のスケジュール等を臨時・嘱託職員へ周知した。

児童虐待の通報を受けてからの対処方法と課題は

問

対処方法として難しいと感じていること、虐待を許さない郡山にするために、今後、取り組む課題は。

答

対処が困難な主な事例は、養育者に起因するものが多く、懲戒権を主張するケースや、養育能力が低いと判断されるケースなどである。

児童虐待は、未然防止と養育者への支援が重要と認識しており、児童相談所が関与する前段階で、予防の取組みや、子どもの発達段階や家庭の状況に応じた切れ目のない支援が重要な課題である。

今後も、児童虐待は社会全体で取り組むべき課題と捉え、児童相談所などの関係機関との緊密な連携のもと、支援に努めていく。



新政会

ふくだ あやか
福田 文子 議員あやか
文子 議員

保育士等の働きやすい職場環境の整備について

問

保育士等が悩みを抱え込んで疲れ切ってしまうよう働きやすい職場環境整備についてどう取り組んでいるのか。

答

本年新たに2名の保育士に対し、保育士支援パートナーとしての役割を兼任させた。今後、各保育所を訪問し、保育士が抱える課題や悩みへの相談に応じることで、働きやすい職場環境構築に努める。なお、県保育協議会が、保育士等の職場での悩みなどの専門相談窓口を設置しているため、その活用も図っていく。





志翔会 森合 ちりあい

秀行 ひでゆき
議員



都市計画道路笹川大善寺線の4車線化に向けて

問 暫定2車線での開通後、慢性的な渋滞が発生した場合、財源の確保を図りながら4車線化の整備が必要と考えるが、実施の時期について見解は。

答 郡山市市道の構造の技術的基準を定める条例により、本路線の計画交通量が1日あたりの往復交通量1万2千台を上回る場合に4車線化が必要となることから、今後実施する交通量調査の結果や推移を見極め検討していく。

なお、交通体系整備はストック効果が期待できる3環状線の整備を重点的に進めており、本路線の供用により一定の効果を得られたことから、今後は市全体の交通の円滑化を図るため、内環状線及び東部幹線の整備を優先していく。

成山公園入口の階段の手すりについて

問 安積中学校裏側の成山公園について、西長久保地区側の入口階段に手すりがないとの声がある。

高齢者の体力増進、健康寿命の延伸に向けて、高齢者にも利用しやすい公園にするため、手すりを設置すべきと考えるが見解は。

答 当地区側の階段は2箇所、延長が各40mと長いいため勾配や破損状況、周辺の崩れ等を調査するとともに、利用者のニーズやセーフコミュニティの理念を踏まえ、利用者の安全を第一に、効率的かつ効果的な整備を検討する。



成山公園の階段

SDGs推進全世代健康都市圏事業について

問 モデル事業に選定された健康寿命延伸の推進を図る「SDGs推進全世代健康都市圏事業」を、具体的にどのような取り組みでいくのか。

答 本市健康づくり計画の第二次みなぎる健康生きいきこおりやま21を中心に、セーフコミュニティの取組みと連携し、データ分析等で抽出された課題の追加や新たな指標等の設定、ICT活用による効果的・効率的な取組みをまず本市で実施し、翌年以降連携中核都市圏の市町村に広め、モデル事業期間の本年度からの3年終了後も継続し、2030年までに、健康寿命の延伸の実現を図っていく。



志翔会 佐藤 さとう

徹哉 てつや
議員



これからの学校教育について

問 来年度に小学校から新学習指導要領が順次実施される。今後、本市の学校教育を更に充実発展させるため、どのような学校教育を目指して取り組んでいくのか。

教育委員会としての見解は。

答 これまでの様々な取組みを生かしつつ、学習指導要領の趣旨を踏まえ、家庭や地域との連携や協働に支えられた教育活動を通じ、社会の変化に主体的に対応するとともに、広い視野を持ち感性を豊かに働かせながら、自らの可能性を発揮し、他と協働してたくましく未来社会を切り拓くことのできる資質・能力を備えた知・徳・体のバランスのとれた人材を育成する学校教育を積極的に推進していく。



日本共産党郡山市議員

たかはし よしはる
高橋 善治 議員

独自条例の制定について

問

幼児教育・保育の無償化制度では、国基準を満たさない認可外保育施設でも5年間補助対象になるが、子どもの安全や保育の質の問題から、独自の条例を設け、国基準を満たさない施設を無償化の対象外にする自治体もある。

死亡事故が起きた痛苦の経験を持つ本市は、規制できる根拠条例をもつべきでは。

答

保護者の経済的負担軽減という制度趣旨や待機児童がいる現状で、やむを得ず認可外保育施設を利用する児童がいることから、無償化の対象を限定しないこととした。

また、市内41全ての認可外保育施設が国の基準を満たしていることから、現時点での条例の制定は考えていない。

郡山合同庁舎の活用について

問

公有資産活用検討特別委員会の提言では、旧市役所庁舎であった県郡山合同庁舎は、市民にとって歴史的な財産であり、歴史資料保存施設等としての活用など、庁舎移転後の保存や建物の有効活用の検討を市民の意見を取り入れながら行うこととしている。

郡山市歴史情報・公文書館基本構想策定の中で郡山合同庁舎の活用は検討したのか。

答

郡山合同庁舎は、計画工リア内に入っているが、県の所有であることから、基本構想に係る懇談会や庁内連絡会議等において、具体的な検討は行っていない。



県郡山合同庁舎



立憲民主党

よした 吉田

きみお 公男 議員



「音声コード※」の有効活用について

問

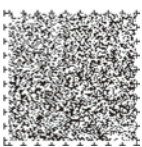
音声コードは視覚障がい者だけでなく、高齢者や外国人などにも有効である。

市の情報提供の手段の一つとして活用の幅を広げるべきと考えるが、見解と具体的な取組みは。

答

平成29年度から導入を開始し、これまで封筒や水道料金等検針票等で使用している情報支援として有効なツールであるため、ユニバーサルデザインの観点から、音声コードの活用拡充に努める。

※音声コード：印刷物に掲載された文字情報を2次元コードに変換したもので、コード読み取り機能を有する携帯電話等を使用することで、記録された音声を得ることができるもの。

↑
音声コード
サンプル

障害福祉サービス受給者証交付の遅れについて

問

平成18年度以降に、更新月日に対して交付が遅れた件数は。

答

申請書等は5年保存文書であるため、平成26年度は、交付が遅れた件数は790件で更新件数の40.2%、平成27年度は959件で44.2%、平成28年度は794件で35.5%、平成29年度は917件で33.2%、平成30年度は440件で14.8%、今年度8月末現在、103件で9.3%であり、その割合は年々少なくなっている。

交付には申請から支給決定まで1か月程度要することの周知や、関係機関等との緊密な連携を図ることで、交付の遅れをなくすよう努める。



志翔会 川前 かわまえ

みつりの 光徳 議員



運転代行事業者の違法行為に対する県との連携は

問

飲食店などから駐車場所まで運転代行事業者の車に乗る「ＡＢ間輸送」といわれるタクシー類似行為について、県では営業停止などの行政処分が行われていない。

市民生活を脅かす違法行為として、取り締まりの強化を県に申し入れるべきと考えるが、今後申し入れを行う予定は。

答

街頭指導等の開催や取締り等の情報交換に努めており、県や郡山警察署に引き続き指導・監督、取り締まりの強化を申し入れる。

また、代行事業者や利用者などへの周知啓発に連携して取り組む。



駅前での街頭啓発の様子

人口ビジョンへの人口の反映について

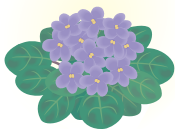
問

9月1日現在の人口は33万2千146人で、現行ビジョンで定めた将来展望人口を6千人以上上回っている。

郡山市総合戦略の改定に併せて基本情報となる郡山市人口ビジョンを改定する際には、実際の人口を反映させるのか。

答

人口の反映については、県においても直近の平成27年国勢調査人口をベースとして算定することとしており、本市においても、県との整合性の観点から、平成27年国勢調査人口を期首人口として反映させる。



車いす利用者の庁舎の対応について

問

下半身が不自由で車いす生活の方が、市役所に車で手続きに来た際、雨が降っていた場合の庁舎の対応は。

答

現在、庁舎玄関付近に車いすの方も利用できるおもいやり駐車場を、本庁舎に5台分、西庁舎に3台分確保しているが、当該駐車場には屋根が設置されておらず、雨天時利用の際には、不便をおかけしている状況である。

当該駐車場への屋根の設置は、利用者の安全な動線の確保等の課題

があること

から、他施設

の設置状況

を参考に、

調査研究を

行っていく。



障がい者への取り組みべき課題について

問

SDGsのゴール3番すべての人に健康と福祉を」を達成するにあたり、障がいを持った方々に対し、今後本市が取り組むべき優先順位の高い課題は。

答

第4期郡山市障がい者福祉プランにおいて、障がい者が地域の中で自立して日常生活又は社会生活ができるよう地域生活支援の充実、福祉的就労から一般就労に移行できるように就労支援の充実、さらに、障がい児支援体制の充実に、障がい者理解の促進、安全・安心なまちづくりの推進を取り組むべき重点課題とし、各種施策、事業を展開している。今後も、様々な関係機関等と連携を図り、より一層の取り組みを推進していきたい。



新政会 渡部 わたへ

りゅうじの 龍治 議員





社会民主党

飯塚 いづみか

裕一 ゆういち
議員町内会・自治会活動の
充実について

問 集会所は、地域の様々な活動及びコミュニティづくりの拠点となる重要な施設であり、集会所整備費等の補助率を3分の2から2分の1へ引き下げる方針を改め、町内会活動への影響を排すべきでは。

答 持続可能な財政運営を図るため策定した市補助金等適正化基本方針において、自主的に行う公益的事業に対する補助率は2分の1以下とした。適用は令和3年度からとし、2か年は現行の補助率とする。激変緩和措置を設け、町内会の負担軽減や修繕計画等に配慮したところであり、今後この方針を維持する。

子ども食堂等への支援策
について

問 民間やNPO法人等により運営される子ども食堂等に対し、事業が継続して安定的に運営ができるよう、立ち上げ時や日常の運営に対する補助金創設や活動支援など、切れ目のない充実した支援策を整える必要があるのでは。

答 子ども食堂の助成制度として、県の「子どもの居場所づくりスタートアップ事業」や民間の「ふくしまっこ・つながることも食堂応援プロジェクト」助成制度がある。

本市は、子ども食堂の活動の周知を図り、支援のネットワークの構築や利用者等の子ども食堂に対する理解や安心感の醸成などにより、安定的な団体運営のバックアップに努める。

市議会ウェブページ

本会議や委員会の会議録、市議会中継などが御覧いただけます。

詳しくは郡山市ウェブサイトのトップページから、「郡山市議会」をクリックするか、「郡山市議会」で検索してください。



郡山市ウェブサイトアドレス

<https://www.city.koriyama.lg.jp/>

市議会ウェブページ
QRコード



郡山市議会公明党

やまね さとこ
山根 悟 議員



マイ・タイムラインの活用について

問 避難時の判断に役立つタイムライン（防災行動計画）は、避難するタイミングを事前に決めていないと、非常時に避難行動へ結びつかない。人的被害をなくするため、個人や家族ごとに作成する防災行動計画マイ・タイムラインを活用しては。

答 マイ・タイムラインを作成することで、速やかな避難行動、防災意識の向上にも資するものと認識している。

また、住民同士で災害リスク等の意見交換が重要である。このため、家族で散歩をしながら避難場所を確認し、災害に備える手法「防災さんぽ」を取り入れながら、マイ・タイムラインの導入を実証的に実施していく。

同性パートナーシップ条例の制定について

問 県内初の条例制定に向けた検討を始めてはどうか。

答 当事者の声や実態等を把握するとともに、多くの方にセクシャルマイノリティについて、理解を得ることが重要と考えている。

そのため、研修会等へ専門講師の派遣や情報紙等を活用し、多様な価値観や人権意識の醸成に努めている。

今後は、条例を制定している先行自治体の実効性や課題等を参考に、本市の状況等を踏まえ、研究に着手していく。



LGBTの理解促進等に用いられるレインボーリボン

ホストタウンとして市民の関わり方について

問 東京2020オリンピック・パラリンピックに出場するハンガリー競泳チームの事前合宿を契機に、日本とハンガリーの競泳チームを市民が一体となって応援するため、パブリックビューイングを郡山しんきん開成山プールで実施すべきと考えるが見解は。

答 （仮称）東京2020オリンピック・パラリンピック関連事業等郡山市実行委員会の設立を進めており、ホストタウンとしてオランダ王国やハンガリーを応援する取組みの検討、及び、郡山しんきん開成山プールでのパブリックビューイングも協議していく。



プールの大型ビジョン

国道288号の歩道の整備について

問 国道288号は、幅員が狭く、特に東北本線を跨ぐ歩道の跨線橋は幅が著しく狭く、クランク状になっている。

通勤通学時は歩行者に加えて自転車等が数多く通行することから、通学する子どもたちの安全安心を確保するため、歩道の拡幅やクランクを是正する等の対策を一日でも早く実施すべきと考えるが見解は。

答 歩行者等の安全を確保するため、早急な対策が必要であると認識しており、道路管理者の県に対し、歩道橋の整備等をまちづくり意見交換会にて要望した。

今後、あらゆる機会を活用し、地域の声を伝えるとともに、歩道の整備実現に向け、粘り強く要望していく。



緑風会
名木 なぎ

けいいち
敬一 議員





社会民主党

やえがし
八重樫さよこ
小代子

議員



本市における貧困の定義・対象について

問 子どもの貧困とは、国の国民生活基礎調査によると、相対的貧困率、17歳以下の子ども、年間12万円未満の可処分所得しかない世帯となっている。

本市の第二期二〇二〇子ども・子育てプランにおける「貧困」の定義、対象世帯は。

答 子どもの貧困の定義については、御質問にあるように、国の定義と同様「相対的貧困」とし、世帯については「国民生活基礎調査」から算出された平均的な可処分所得の半分を下回る世帯とする考えである。



高齢者健康長寿サポート事業の拡充について

問 本年6月の市政一般質問では、70から74歳までバス・タクシー補助を加えると、2千500万円の予算増額とのことだったが、高齢者の格差と貧困を考慮した施策、「引きこもり防止策」を、再度検討すべきと考えるが見解は。

答 団塊の世代が75歳以上となる2025年を見据え、当該事業を含む高齢者施策の見直し等について、郡山市地方社会福祉審議会に諮問し、現在、審議いただいている。

11月に受ける予定の答申を踏まえ、当該事業については、高齢者施策全体について、限られた財源のもと、持続可能なものとなるよう、来年度の予算編成の中で、具体的な事業の見直しを図っていく。



新政会

よしだ
良田きんじろう
金次郎

議員



射撃場の設置について

問 鳥獣被害を防ぐため、射撃人口の増加や銃砲保持者の資質向上が望まれるが、市内の銃砲保持者は、許可の取得のための試験や研修射撃等その他市の射撃場で実施している。市民の命を守る意味でも射撃場設置を求めるが、見解は。

答 射撃場の設置は、クレイ射撃等スポーツの振興のほか、鳥獣被害対策につながると認識しているが、施設整備には、鉛対策、騒音、安全対策などの課題がある。

今後も、競技人口やライフサイクルコスト等を踏まえ、その必要性を検討し、また、他市の施設との広域利用の円滑化を図る。



簡易水道について

問 市内4地区で水道水を供給する簡易水道の料金について、市は簡易水道審議会から答申を受け、来年度からの料金の値上げを検討するとの報道があったが、答申を踏まえた市当局の見解は。

答 簡易水道事業は、低廉な料金体系や、料金収入の減少、施設修繕経費の増加や、施設整備時の借入金償還など、非常に厳しい経営状況にある。

今回の答申は、受益者負担の適正化を原則としながらも、利用者に急激かつ過度な負担を求めることのない、現実的な内容であることから、その趣旨を尊重し、新たな簡易水道料金体系の在り方について現在検討している。



郡山市議会公明党

小島 寛子 議員



医療的ケア児※受入れ体制の現状と今後の取組みは

問

保育施設は、医療的ケア児と家族の支援に直結するため、医療的ケア児の受入れ体制の強化が求められる。

就学前における受入れ体制の現状と今後の取組みは。

答

受入れについては、医療的ケアを行う看護師や、これを補助する保育士等の配置のほか、当該児童及びクラス内児童の安全確保など、多くの課題を有している。

現在、民間認可保育所1施設1名の児童が入所している。

今後は、受入れ体制構築に向け、関係部局等と連携を図り、人材確保、環境整備など、支援体制等を検討していく。

※医療的ケア児：人口呼吸器や胃ろう等を使用し、たんの吸引等の医療的ケアが日常的に必要な子ども。

園外活動時の安全管理の取組みについて

問

散歩中の保育園児が死傷した交通事故を受け、厚労省から、園外活動の重要性を確認する通知が発出された。

本市は、その通知に基づき、園外活動時の安全管理をどのように実施してきたのか。

答

市内の全保育施設に危険箇所の調査を行い、その後、関係機関と点検を実施した。

その結果、90か所について安全対策が必要と判断され、国2か所、県7か所、市46か所、郡山警察署28か所、郡山北警察署7か所であった。

園外活動の場所については、園児達の移動が容易で、安全な場所の確保に努める。



防災訓練の原子力災害対策について

問

防災訓練の原子力関係ブースには、前年まであったパネル等の展示が見当たらず、啓発や市の考え方を理解するには物足りなかった。

防災訓練には必ず原子力災害対策を欠かさないことを求めるが見解は。

答

熊本地震や大阪府北部地震及び北海道胆振東部地震など、近年は大規模な地震が多数発生していることから、地震を想定した防災訓練を実施した。

また、県主催の原子力防災訓練を毎年実施しており、放射線に関するパネルの展示等を行い、今後ともあらゆる機会を捉え周知啓発を図っていく。



郡山市総合防災訓練の様子

放課後保障と放課後等デイサービスの課題

問

障がいのある子どもたちの放課後保障として児童クラブや地域こども教室、放課後等デイサービスと日中一時支援についてどのように分析し、課題解決に取り組むのか。

答

児童クラブや地域こども教室では支援員等の障がい児支援に対するスキルアップが課題であり、療育巡回相談や専門研修等を活用している。

放課後等デイサービスでは、希望する利用時間の重複や特定の事業所に利用希望が集中する等、利用者の様々なニーズに沿った利用契約に基づく利用形態によるものと考える。今後、事業者や関係機関と連携してサービスの充実を図り、放課後の安全、安心な居場所の確保に努めていく。



虹とみどりの会

蛇石 郁子 議員





緑風会 諸越 裕 議員
もろこし ひろし



プラスチックの削減について

問 鎌倉市のように、本市庁舎内でも自動販売機でのペットボトル飲料の取扱いを廃止し、リターナブル瓶、マイカップ及びマイボトル対応自動販売機に替えるべきと考えるが見解は。

答 現在の自動販売機は、一般競争入札で事業者を決定し、令和4年度末まで設置を認めたもので、ペットボトルからリターナブル瓶への変更は、販売機の交換等事業者の負担が大きく、当初の仕様内容と大幅に異なるため、契約期間中の変更は難しい。

マイボトル等対応型自動販売機の設置は、今回の更新時における当該販売機の普及状況等を事業者と情報共有し、導入に向け努力していく。

大町大槻線について

問 市道大町大槻線は、県道と交差するため、県道整備と同時に供用を開始すると伺っている。

現在の当該市道の進捗よく状況は、延長ベースで約40%と伺っているが、この際、県道と分離し、先行して開通すべきと考えるが見解は。

答 県道と分離した本路線の開通は、県道芦ノ口大槻線との交差点接続や主要地方道郡山湖南線の切り替え工事が必要となるため困難な状況であるが、本路線及び県道の全体的な開通が早く出来るよう県と更に連携し、共同プロジェクトとして取り組みんでいく。



整備される市道大町大槻線

請願書・陳情書の提出

請願・陳情は、市議会に対して、いつでも、どなたでも行うことができます。

■請願について

〈受付〉

定例会中に審議を希望する請願の受付は、市政一般質問初日の午後5時までです。

これを過ぎると次の定例会での審議となります。

〈取扱い〉

請願は、関係する委員会では審査し、その内容が妥当と認められるものは採択の上、市の事務に関するものは市長等へ送付し、処理の経過及び結果の報告を求めます。

また、国・県等の事務に関するものは意見書を提出します。

■陳情について

〈受付〉

定例会中に議員への配付を希望する陳情書の受付は、開会日翌日の午後5時までです。

〈取扱い〉

陳情は、陳情書の写しを各議員に配付します。

陳情書

年月日
郡山市議会議長様

(陳情者住所)
(陳情者氏名) ㊟

〇〇〇について
陳情趣旨
陳情事項

請願書

年月日
郡山市議会議長様

(請願者住所)
(請願者氏名) ㊟
(紹介議員) ㊟

〇〇〇について
請願趣旨
請願事項

※請願は紹介議員が必要です。

タブレットの導入

本年9月から、議会にタブレット端末を導入しました。

◇本会議では、一般質問で関連する資料をタブレットやモニターに表示し、傍聴者などにも、見て分かりやすい会議となりました。

◇情報収集をはじめ、迅速かつ効率的な活動へ活用されています。

今後も、更なる効果的な活用を目指します。



タブレットを使用した本会議の様子



P D C A サイクルの実施

議会としてのチェック機能を果たすため、各常任委員会において事業の進捗よく報告の聴取と評価を実施する「P D C A サイクル」の取組みを始めました。

今定例会では、対象事業の選定を行い、翌年の9月定例会での報告、採決を目指して定例会ごとに当局からの報告を受ける予定です。

〈選定した対象事業〉

総務財政常任委員会

◇（仮称）歴史情報・公文書館施設整備事業

建設水道常任委員会

◇雨水貯留施設等整備事業

環境経済常任委員会

◇森林経営管理事業

文教福祉常任委員会

◇小中学校施設環境整備事業

こおりやま市議会だより編集委員会から

■紙面の刷新について

今号から、紙面レイアウトが新しくなりました。
・文字サイズを大きく
・写真や図などで見やすく

■新編集委員の紹介



（前列右から）
前内好彦 委員
岡田哲夫 委員
森合秀行 副委員長
渡部龍治 副委員長
柳田尚一 委員
（後列右から）
村上晃一 委員
福田文字 委員
佐藤栄作 委員
山根一悟 委員
名木敬一 委員

今後も、市民の皆様にとって、分かりやすく読みやすい紙面づくりに努めます。
どうぞよろしく願います。

「令和元年度上期分政務活動費会派別収支報告一覧表」は、市議会ウェブページから御覧いただけます。



政務活動費収支報告
QRコード



市議会のしくみを分かりやすくまとめた「市議会のはなし」を発行しています。

「こおりやま市議会だより」は、行政センター、公民館、図書館などの公共施設に配置しています。

また、視覚が不自由な方のために「こおりやま市議会だより」の点字版・音声版を発行しています。

12月定例会開催予定

12月定例会は、12月2日からの予定です。

なお、正式な日程は、定例会初日に決定するため、変更となる場合があります。

日	月	火	水	木	金	土
12 /1	2	3	4	5	6	7
	本会議一開会	議案調査(休会)		事務整理日(休会)	本会議 (市政一般質問)	休会
		※陳情締切			※請願締切	
8 休会	9	10	11	12	13	14
	本会議(市政一般質問)			常任委員会		休会
15 休会	16 事務整理日(休会)	17	18	19	20	21
		本会議一閉会				

- ・本会議の様子をインターネットで生中継いたします。
- ・生中継は、各行政センター、緑ヶ丘ふれあいセンター、ビッグアイ6階の市民プラザ（月曜日を除く。）でも御覧いただけます。
- ・録画中継は、生中継の4日後（土・日曜日及び祝日を除く。）から公開します。



市議会中継 QR コード

議会を傍聴しませんか



本会議や委員会の様子をどなたでも御覧いただけます。議会の活動にふれるための身近な機会ですので、是非おいでください。



傍聴席はこちらです



	本 会 議	常 任 委 員 会
受付場所	西庁舎 7 階 傍聴受付	西庁舎 6 階 議会事務局
受付時間	会議開始 30 分前から	会議開始 40 分前～20 分前
定 員	74 人 ※先着順	各委員会 15 人 ※定員を超えた場合は抽選

編集 後記

台風第19号に伴う災害により亡くなられた方に対し衷心より哀悼の意を捧げるとともに被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

表紙写真にあるとおり、今議会からタブレット端末を利用した議会がスタートしました。この度の災害において、共有すべき情報をタブレットを通して迅速なやりとりができましたが、市民の皆様一人一人に対しての情報伝達に課題を感じる場面もありました。

議会としても全議員一丸となり、被災からの復旧・復興に向けて行動するとともに、必要な情報の発信に努めてまいります。（山根）